



生駒で暮らす女性 15 人が生駒の魅力を撮影 フォトブック「いこまの愛しい時間」を 11 月 5 日から展示

生駒で暮らす女性 15 人で構成した市民 PR チーム「いこまち宣伝部フォトブックチーム」が、未来に残したい生駒の魅力をテーマに平成 28 年 7 月～9 月にかけて市内の人や風景など約 4,000 枚以上を撮影。その中から選んだ約 40 枚の写真を 1 冊にまとめたフォトブック「いこまの愛しい時間」を発行し、11 月 5 日（土）から生駒駅前図書室で開催する「my home town わたしのマチオモイ帖 2016 生駒展」で展示します。

■フォトブック「いこまの愛しい時間」

▶**タイトル** フォトブック「いこまの愛しい時間」

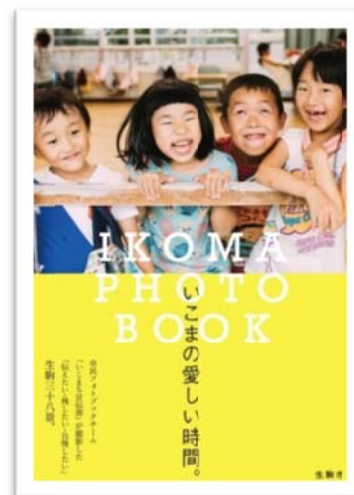
▶**規格** A5 版 36 ページ（フルカラー）

▶**内容** 市民 PR チーム「いこまち宣伝部フォトブックチーム」が平成 28 年 7 月～9 月にかけて市内の人や風景などを撮影。その中から選んだ約 40 枚を 1 冊の本にまとめて発行（部員が過去に撮影した生駒の写真も一部使用）。

▶**撮影者** いこまち宣伝部フォトブックチーム（20～45 歳の生駒市内に住む女性 15 人。平均年齢 35 歳）が、地域の魅力のを見つけ方や撮影方法を学び、市内各所で一眼レフカメラやスマートフォンなど機材を問わずに撮影。活動は全てボランティアです。

▶**撮影場所** 桜ヶ丘小学校、通学路、宝山寺、往馬大社、生駒山上遊園地、棚田、暗峠、ケーブルカー、高山竹林園、駅舎など 50 か所以上

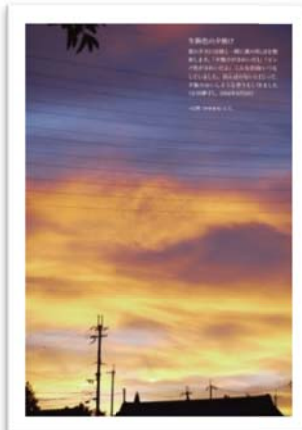
▶**展示場所** 11 月 5 日（土）から生駒駅前図書室で開催する「my home town わたしのマチオモイ帖 2016 生駒展」で展示。その他、市内図書館、小・中学校、公共施設、取材協力店などに配架。市ホームページでも同日から閲覧できます（電子ブック形式）。



フォトブック
「いこまの愛しい時間」表紙



フォトブックチームの皆さんと関係者



▶**撮影監修** 奈良県在住のフォトグラファー 都甲ユウタ

▶**その他** この事業は、一般社団法人自治総合センターが行うコミュニティ助成を活用しています。

■企画背景

平成 27 年度に実施した市民満足度調査では「生駒市への居住を人に薦めたい人の割合」は 50.3%、24 年度に実施した同調査で市のイメージを「自然や緑の豊かな住宅街が広がるまち」と答えた人は 58.1%であった。「生駒だから住む理由」を感じずに暮らしている人が非常に多く、何よりも生駒に住

んでいる層がまちへの愛情や誇り、シビックプライドを強め、それを生駒に興味のある層や今はまだ生駒に興味のない層へと広げていくことが必要であると考え。そのため、住民といっしょになって地域資源を掘り起し、生駒の魅力を言語化できる状態をつくるために、「いこまち宣伝部フォトブックチーム」を立ち上げた。

■フォトブックチーム部員のコメント

「優しくほっこりした生駒らしい雰囲気に仕上がりました。自慢の 1 冊です」

「生駒にずっと暮らしていますが、撮影でいろいろな場所をまわって知らなかった生駒の魅力をたくさん発見できました」

「大阪や名古屋ばかりで遊んでいましたが、実際に足を運んで生駒市内で撮影すると、生駒にも魅力がたくさんあることがわかりました。この 1 冊で生駒の良さを友人に伝えたいです」



フォトブックチームを監修
フォトグラファー都甲ユウタ

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市広報広聴課（課長 小林、村田） ☎0743-74-1111(内線 221)